

シュラフカバーの効果

シュラフカバーには主に2つの機能があります。ひとつは防水性の確保、もうひとつは保温性の向上です。

HEARTY & QUALITY

心あるモノづくりで、最高の品質を

春・夏・秋・無雪期の山行やツーリング、キャンプなど

Quick Choice 1 Quick Choice 2 Quick Choice 3

雨天など、特に寝袋の濡れへの備えが中心となる春から秋の山行では、防水性の確保のために多くの方が準備しています。

濡れへの対策が中心となる場合には、コストパフォーマンスに優れたウェザーテックシュラフカバーでも対応可能です。

予算が許せば「ゴアテックス」をおすすめします。防水性・透湿性・軽量性のすべてにおいて優れており、保温性の維持にも効果的です。

積雪期・残雪期・冬期・寒さの厳しい季節

Quick Choice 4 Quick Choice 5

濡れと寒さ、両方への対応が必要な積雪期・残雪期・冬期にはまさに必需品、防水性・透湿性に優れた「ゴアテックス」を強くおすすめします。

「ゴアテックス」は非常に高い防水性と、優れた透湿性を持つので、睡眠中の自然蒸泄による水分の残留を最小限に抑えてくれるからです。

寝袋の中わたは、水分を含むと保温性が低下します。

保温性の低下を最小限に抑えるために「ゴアテックス」は非常に有効です。



WEATHERTEC®

商品名		QC	最低使用温度	GORE-TEX INFINIUM レギュラー	GORE-TEX INFINIUM ワイド	WEATHERTEC
				209(全長)×87(肩幅)cm 腰回り70.5cm	209(全長)×87(肩幅)cm 腰回り82.5cm	209cm×84cm
				360g	405g	410g
Air Plus	810	Quick Choice 5	-25 °C		★★	
	630	Quick Choice 4	-15 °C		★★	
	450	Quick Choice 3	-7 °C	★		★
	280	Quick Choice 2	-1 °C	★		★
Air Dryght	860	Quick Choice 5	-25 °C		★★	
	670	Quick Choice 4	-15 °C		★★	
	670 ショート	Quick Choice 4	-15 °C		★★	
	480	Quick Choice 3	-7 °C	★		★
	480 ショート	Quick Choice 3	-7 °C	★		★
	290	Quick Choice 2	-1 °C	★		★
	290 ショート	Quick Choice 2	-1 °C	★		★
	190	Quick Choice 1	7 °C	★		★
	160	Quick Choice 1	8 °C	★		★
	140	Quick Choice 1	8 °C	★		★
Down Plus	デナリ 1100	Quick Choice 5	-30 °C		★★	
	デナリ 900	Quick Choice 5	-25 °C		★★	
	ニルギリ EX	Quick Choice 4	-15 °C		★★	
	ホカラ X	Quick Choice 3	-7 °C	★		★
	外ハニ X	Quick Choice 2	-1 °C	★		★
	チロル X	Quick Choice 1	6 °C	★		★
Entory Bag	エントリーバック	Quick Choice 2	5 °C	★		★
Alpha Light	1300 EX	Quick Choice 5	-20 °C		★★	
	1000 EX	Quick Choice 4	-12 °C		★★	
	700 X/NEO 700	Quick Choice 3	-6 °C	★		★
	500 X/NEO 500	Quick Choice 2	0 °C	★		★
	300 X/NEO 300	Quick Choice 1	6 °C	★		★
	ウルトラライト NEO	Quick Choice 1	10 °C	★		★
	パトロール 600/ショート	Quick Choice 2	2 °C	★		★

★★ 冬期用モデルには、寝袋のロフトを損なわないようにゆったりしたワイドサイズをおすすめしています。

シュラフカバーのサイズについて

当社のシュラフカバーは、フード部分を立体的に設計した3D構造のフードを採用しています。このため、平面的な形状の他のモデルと比較すると全長で約25cm程度低い数値を示しますが、圧迫感の少ないゆったりしたフード形状は寝袋とのフィット感も良く、特におすすめの仕様です。ゴアテックス シュラフカバーでは、レギュラーとワイドモデルが同じサイズ(肩幅×全長)の表示になっておりますが、これは肩幅が右図Aの部分を示すためであり、実際にはA部分は絞って使用するために、実際的な数値とは言い難く、むしろB~D部分の横幅が重要となります。ワイドモデルではこの部分を幅広に設計しているために、実際にはかなりゆったりとご使用いただけます。

※ 厳冬期用モデルには、ワイドモデルを強くおすすめします。エアプラス810、エアドライト860、デナリ900・1100、アルファライト1000EX・1300EX  
※ 体の大きな方、ゆったりめをご希望の方にもおすすめします。

